

<平成29年度 学校教育目標>「人を大切に、物を大切に、時を大切に」

<目指す子ども像>

Be proud of our school～一人一人が主役～「誇りの持てる学校に。誇りの持てる自分に」

「自ら学ぶ力」「自ら律する力」を身につけ、目の前にあるすべてのことについて全力を注げる子。

- (1) 笑顔でいさつができる。
- (2) 夢や目標をもち、素直で何事にも一生懸命に取り組むことができる。
- (3) 自分を大切に、人を大切にできる。

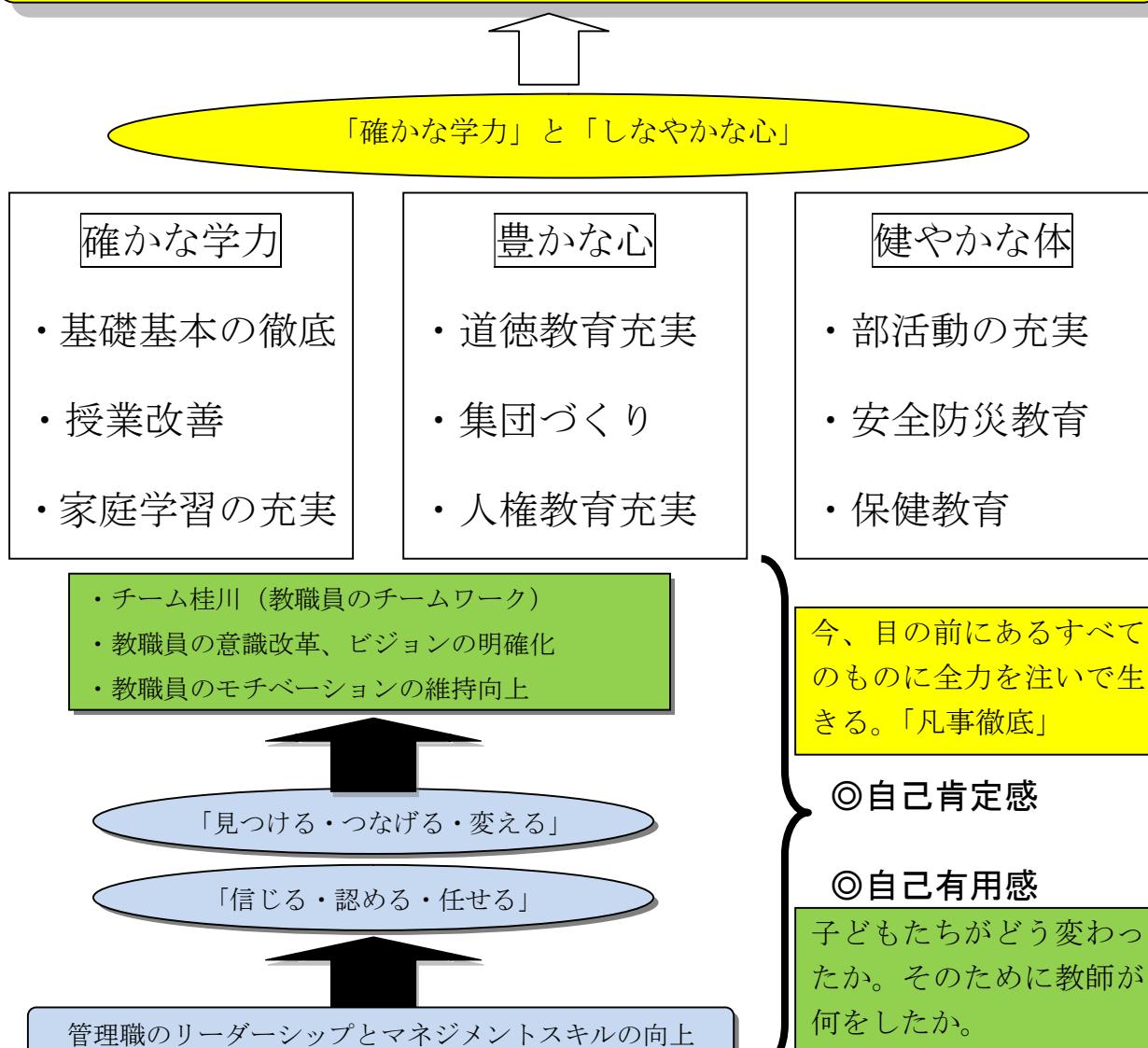
<目指す教職員像・学校像>

あらゆる教育活動を通して、「生き方・行き合い方」を伝えていきたい。

「先生みたいになりたい」「あんな生き方をしてみたい」「先生の生き方や考え方が好き」

- (1) 一人一人の生徒を大切にする・・・心の通った指導。生徒の側にいましょう。
粘り強く、スクラムを組みチームで取り組みましょう。
- (2) 学校を変えるのは人・・・自分が変わる（成長する）ことで、学校が変わる。
 - ・不易流行…変わらず大切にすることがある。人を変えるには、自分が変わる（成長する）。
 - ・変わると向上心…過去のスタイルにとらわれず、新しく取り入れる。
あの時良かったやり方が、今、良いとは限らない。
 - ・ビジョン…こんなクラスにしたい。こんな授業をして、こんな力をつけさせたい。
こういう部にしたい。→生徒の「なりたい自分」につながる。
 - ・「物や時間には限りがある」が、無限の可能性があるのは「人」
- (3) 豊かな心の育成を目指した取組の充実（協働活動を大切に）
 - ・全教職員共通理解のもと、全教職員で取り組む「道徳」の授業。
 - ・あらゆる教育活動を通して、豊かな心としなやかな心の育成を目指す。
 - ・部活動や生徒会活動の更なる充実。
 - ・生徒の自己肯定感や自己有用感等の自尊心の高揚を目指す。
 - ・笑顔で、気持ちの良いいさつができる学校。
- (4) 言語活動の充実
 - ・基礎基本の徹底とそれを活用できる力（思考力・判断力・表現力）の育成。
 - ・あらゆる教育活動の場面で「ことば」（聴く・書く・話す）の大切さを意識して取り組む。
- (4) 生徒の主体性を大切にする・・・指導者のビジョンと主体性が必要。
 - ・「信、任、認（しん・にん・にん）」…生徒の心に自己肯定感や自己有用感を。
- (5) 攻めの生徒指導、足で稼ぐ
 - ・迷ったときは目的に帰る。どうしようかと迷ったときはやる。
 - ・自分にとって困難なほう（困難な道）を選択する。
 - ・自分が本当に納得できたかが大切。「これで良かったのか？」と常に自分に問う。
 - ・家庭訪問…顔を見て伝えましょう。
 - ・困難な生徒や保護者にも、時間をかけて誠実に取り組んでいけば必ず思いは伝わる。
 - ・「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」が大切。
- (6) 地域（行事）や施設（児童館・桂川園）との連携
- (7) 小中一貫（連携）…小学校から学ぶもの。中学校から伝えるもの。桂川中学校らしさ。
- (8) 学校の評価とは、生徒の変容をとらえるものであり、生徒の変容で図るもの。子どもがどう変わったか？どう成長したか？決して教職員の自己満足ではない。
- (9) 教職員のチームワーク・・・一人一人の持ち味を大切にし、高めあえる集団。リフレッシュ。

「人を大切に、物を大切に、時を大切に」～「生きる力」「人間力」の育成

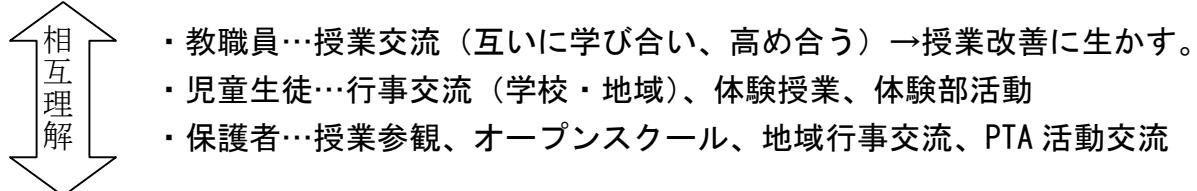


<桂川中学校の良さの発見と共有>

- ・真面目な教職員集団・地域や保護者の協力と信頼・たくさんの生徒（活気）・真面目な生徒
- ・生徒会活動の充実・数年前の荒れた状態からの立て直し・小中学校の情報の共有と協力体制

<課題の掘り起こしと共有>

- ・一人ひとりをしっかりと見つめ、個々の課題（学習面・生活面・精神面）を共有。



小中一貫（小学校との連携）、学校運営協議会、おやじの会、PTA

4K（桂川・川岡・桂東・川岡東）で育む

4つのK（聴こう・考えよう・行動しよう・そして感動をつくろう）